

I. 調査の概要

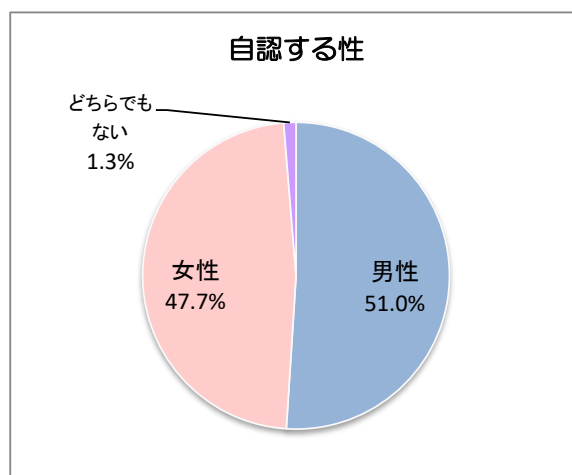
- 対象者 市内の福島県立高等学校(支援学校を除く)の2年生 2,450人
- 回答者数 2,168人
- 回収率 88.5%
- 調査期間 令和元年6月17日から7月17日
- 調査方法 学校を通じ配付・回収

II. 調査結果の概要

1. あなた自身のことについてお伺いします。

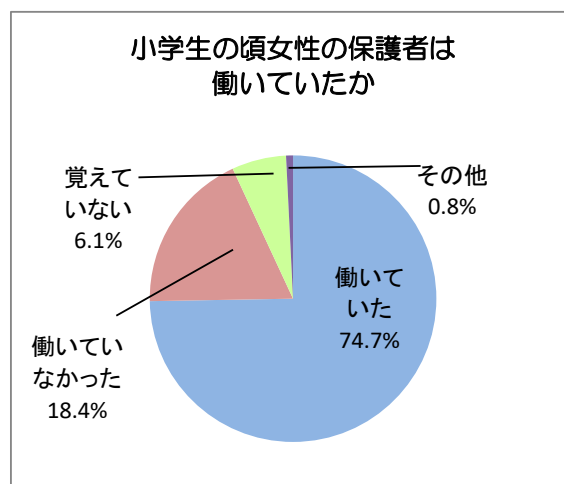
問1-① あなたの自認する性は

	人数	割合
男性	1,106	51.0%
女性	1,034	47.7%
どちらでもない	28	1.3%



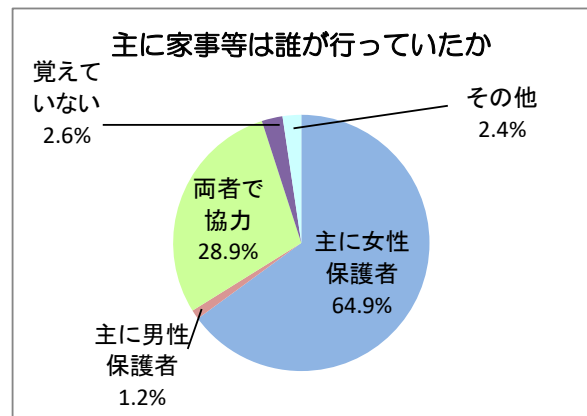
問1-② あなたが小学生の頃、女性の保護者は働いていましたか。

	人数	割合
働いていた	1620	74.7%
働いていなかった	398	18.4%
覚えていない	133	6.1%
その他	17	0.8%



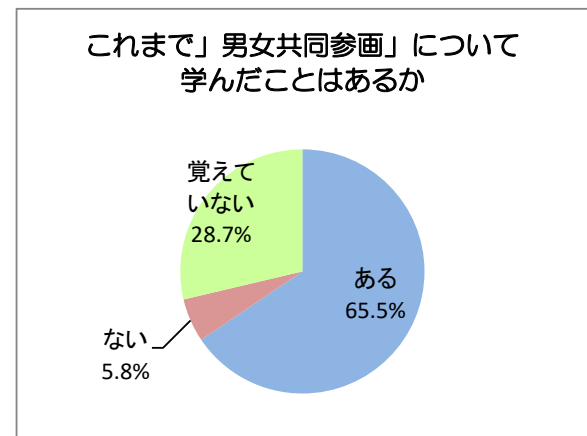
問1-③ あなたが小学生の頃、家事・育児・子育ては主に誰が行っていましたか。

	人数	割合
主として女性の保護者	1408	64.9%
主として男性の保護者	26	1.2%
両者で協力して	626	28.9%
覚えていない	57	2.6%
その他	51	2.4%



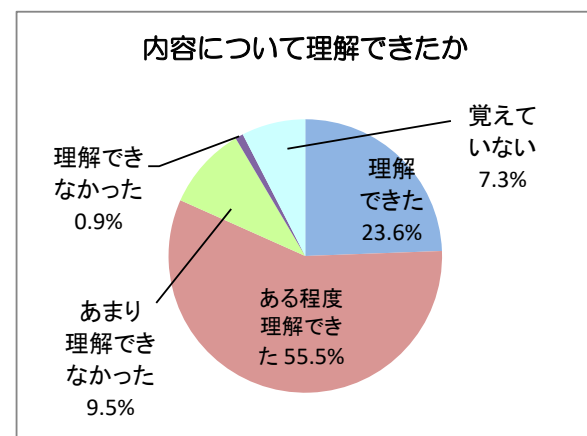
問1-④ 小学校から高校で、これまでに「男女共同参画」について学んだことはありますか。

	人数	割合
学んだことがある	1,421	65.5%
学んだことはない	125	5.8%
覚えていない	622	28.7%



問1-⑤ (※④で1を選んだ人のみ)「男女共同参画」の内容について理解できましたか

	人数	割合
理解できた	336	23.6%
ある程度理解できた	788	55.5%
あまり理解できなかった	135	9.5%
理解できなかった	13	0.9%
覚えていない	104	7.3%

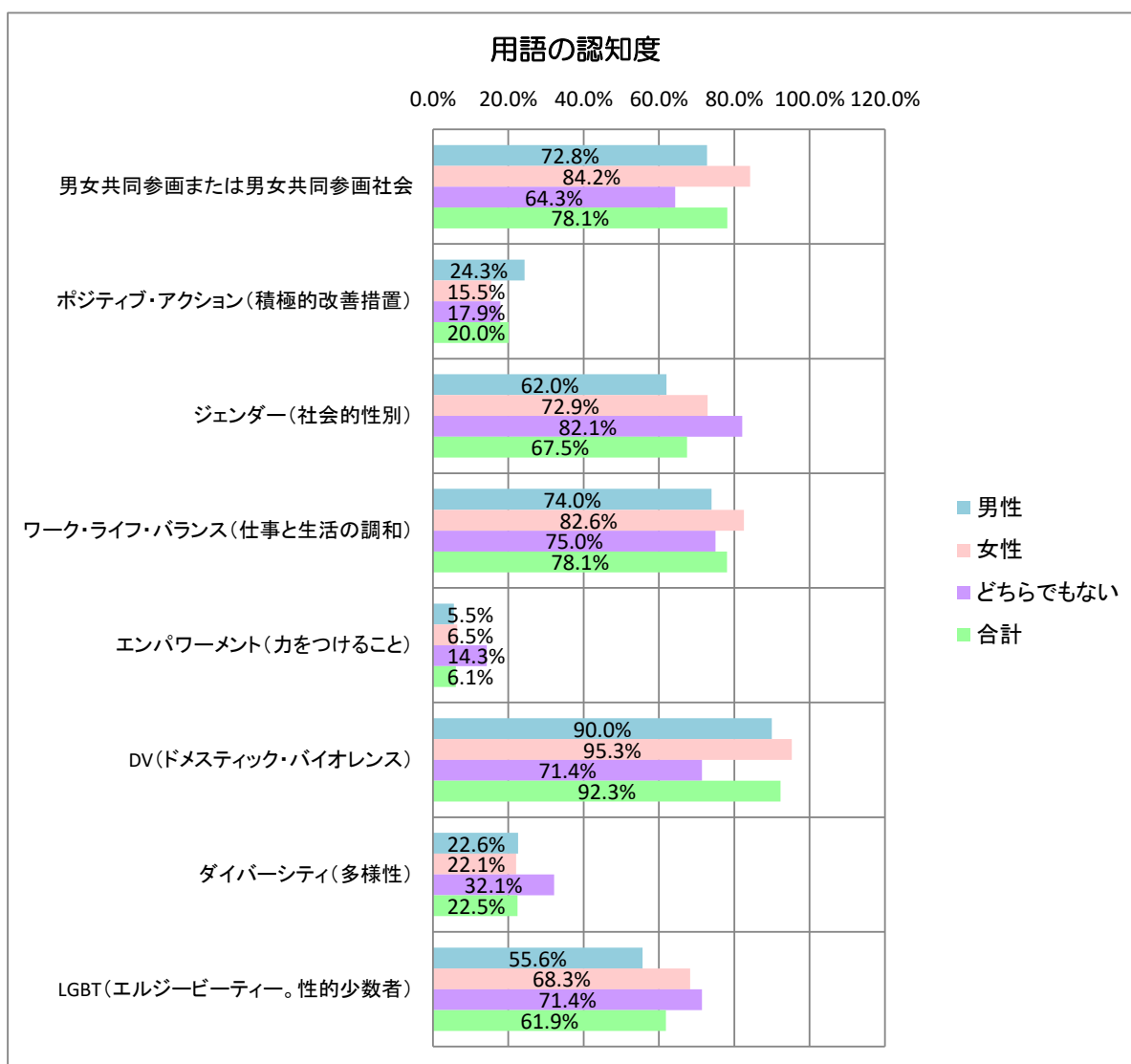


2. 男女共同参画に対する考え方についてお伺いします。

問2 次の言葉を知っていますか。または聞いたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

	男性	女性	どちらでもない	合計
男女共同参画 または男女共同参画社会	805 72.8%	871 84.2%	18 64.3%	1,694 78.1%
ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	269 24.3%	160 15.5%	5 17.9%	434 20.0%
ジェンダー (社会的性別)	686 62.0%	754 72.9%	23 82.1%	1,463 67.5%
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	818 74.0%	854 82.6%	21 75.0%	1,693 78.1%
エンパワーメント (力をつけること)	61 5.5%	67 6.5%	4 14.3%	132 6.1%
DV (ドメスティック・バイオレンス)	995 90.0%	985 95.3%	20 71.4%	2,000 92.3%
ダイバーシティ (多様性)	250 22.6%	228 22.1%	9 32.1%	487 22.5%
LGBT (エルジービーティー。性的少数者)	615 55.6%	706 68.3%	20 71.4%	1,341 61.9%

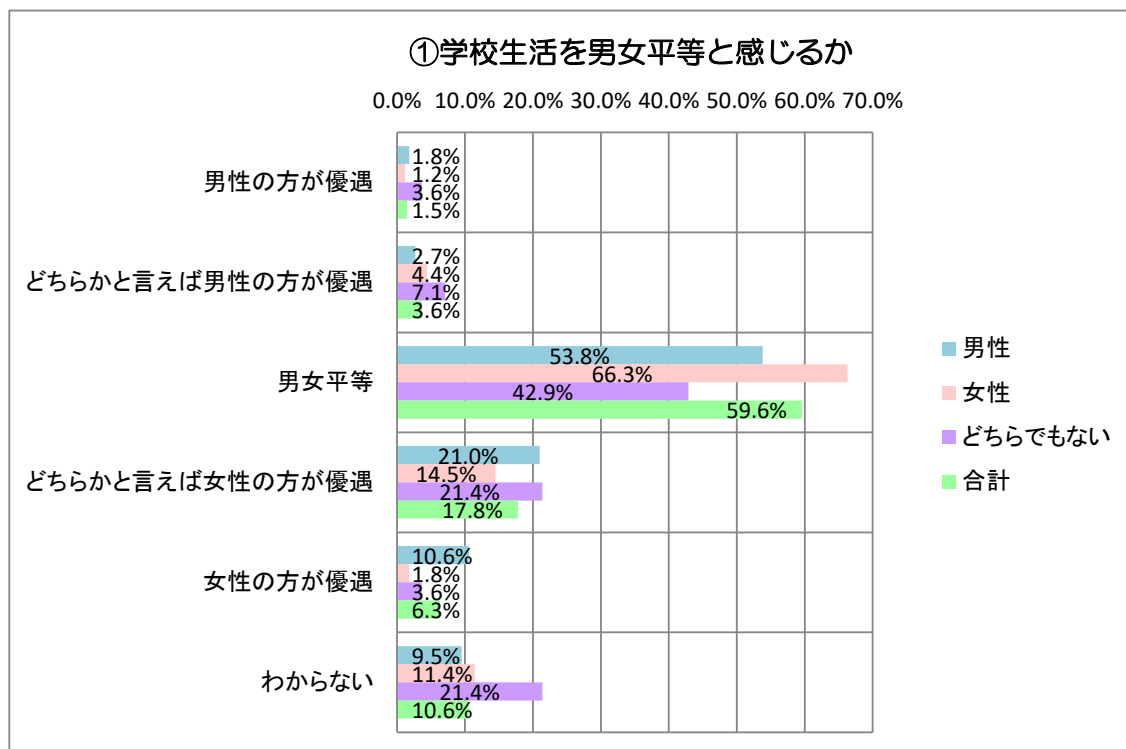
上段：人数
下段：%



全体的にDV（ドメスティック・バイオレンス）、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、の認知度が高い。

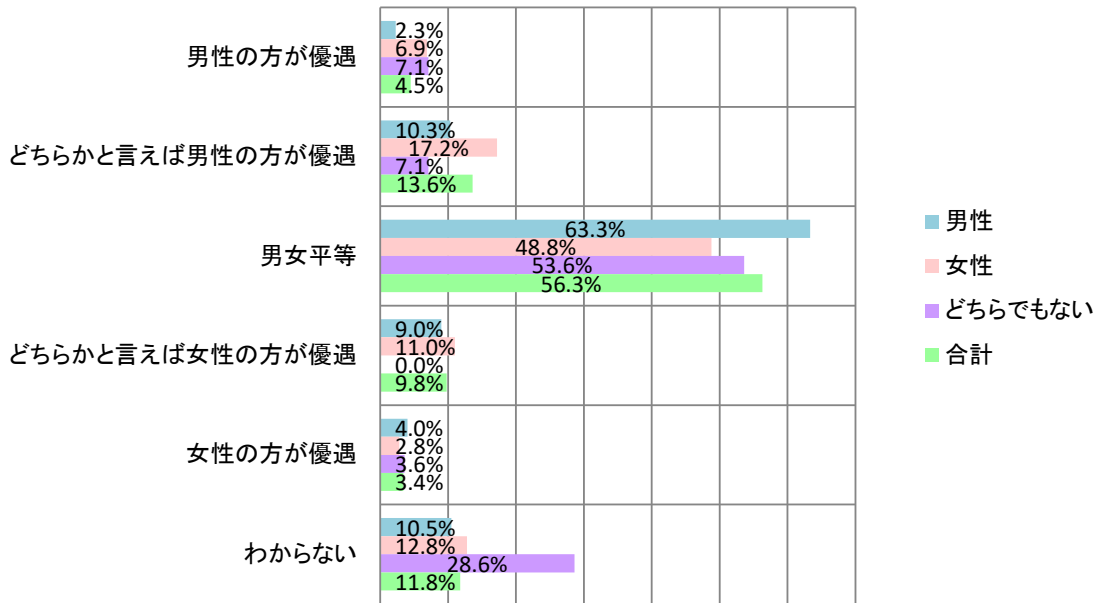
問3 次の①から④の分野で、男女は平等だと思いますか。(それぞれ1つずつ選んで○)

		男性の方が優遇	どちらかと言えば男性の方が優遇	男女平等	どちらかと言えば女性の方が優遇	女性の方が優遇	わからない	合計
①学校生活	男性	20	30	595	232	117	105	1,099
		1.8%	2.7%	53.8%	21.0%	10.6%	9.5%	99.4%
	女性	12	45	686	150	19	118	1,030
		1.2%	4.4%	66.3%	14.5%	1.8%	11.4%	99.6%
	どちらでもない	1	2	12	6	1	6	28
合計	33	77	1,293	388	137	229	2,157	
		1.5%	3.6%	59.6%	17.9%	6.3%	10.6%	99.5%
②家庭生活	男性	25	114	700	99	44	116	1,098
		2.3%	10.3%	63.3%	9.0%	4.0%	10.5%	99.3%
	女性	71	178	505	114	29	132	1,029
		6.9%	17.2%	48.8%	11.0%	2.8%	12.8%	99.5%
	どちらでもない	2	2	15	0	1	8	28
合計	98	294	1,220	213	74	256	2,155	
		4.5%	13.6%	56.3%	9.8%	3.4%	11.8%	99.4%
③法律や制度	男性	17	135	439	197	120	181	1,089
		1.5%	12.2%	39.7%	17.8%	10.8%	16.4%	98.5%
	女性	37	188	400	129	34	241	1,029
		3.6%	18.2%	38.7%	12.5%	3.3%	23.3%	99.5%
	どちらでもない	5	4	6	6	0	7	28
合計	59	327	845	332	154	429	2,146	
		2.7%	15.1%	39.0%	15.3%	7.1%	19.8%	99.0%
④社会全体	男性	51	216	311	196	134	188	1,096
		4.6%	19.5%	28.1%	17.7%	12.1%	17.0%	99.1%
	女性	95	330	232	119	37	217	1,030
		9.2%	31.9%	22.4%	11.5%	3.6%	21.0%	99.6%
	どちらでもない	8	4	3	6	1	6	28
合計	154	550	546	321	172	411	2,154	
		7.1%	25.4%	25.2%	14.8%	7.9%	19.0%	99.4%



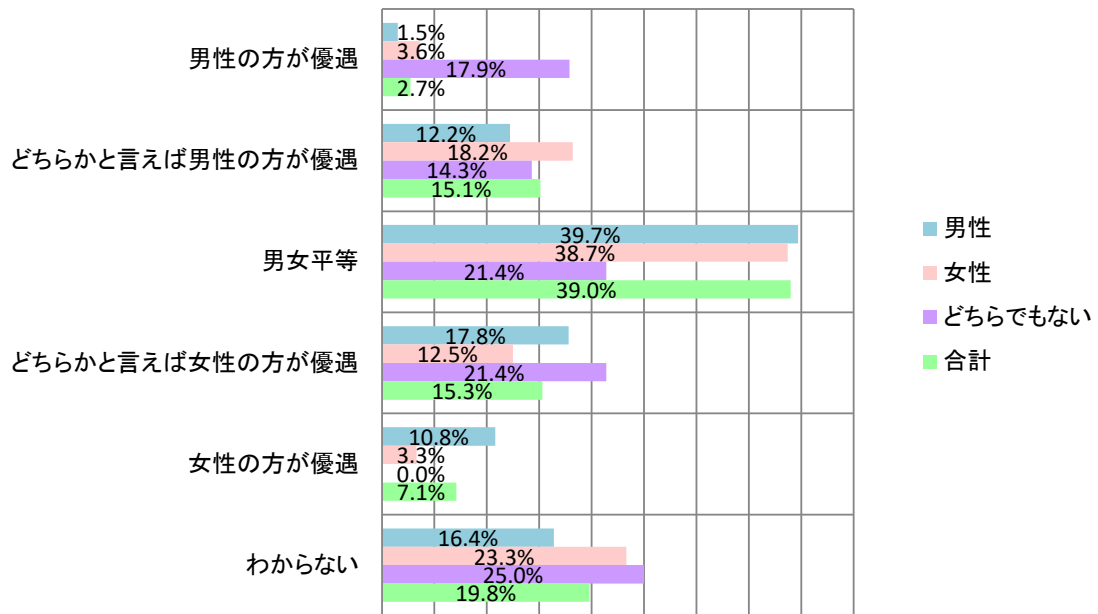
②家庭生活を男女平等と感じるか

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0%

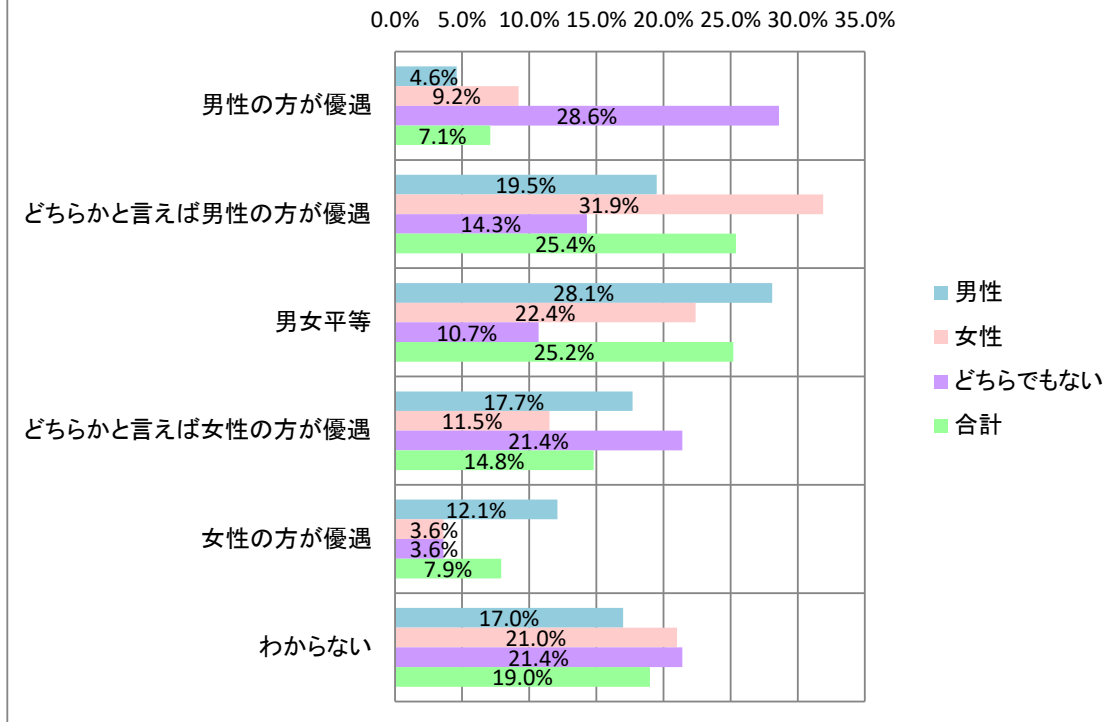


③法律や制度を男女平等と感じるか

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0% 40.0% 45.0%



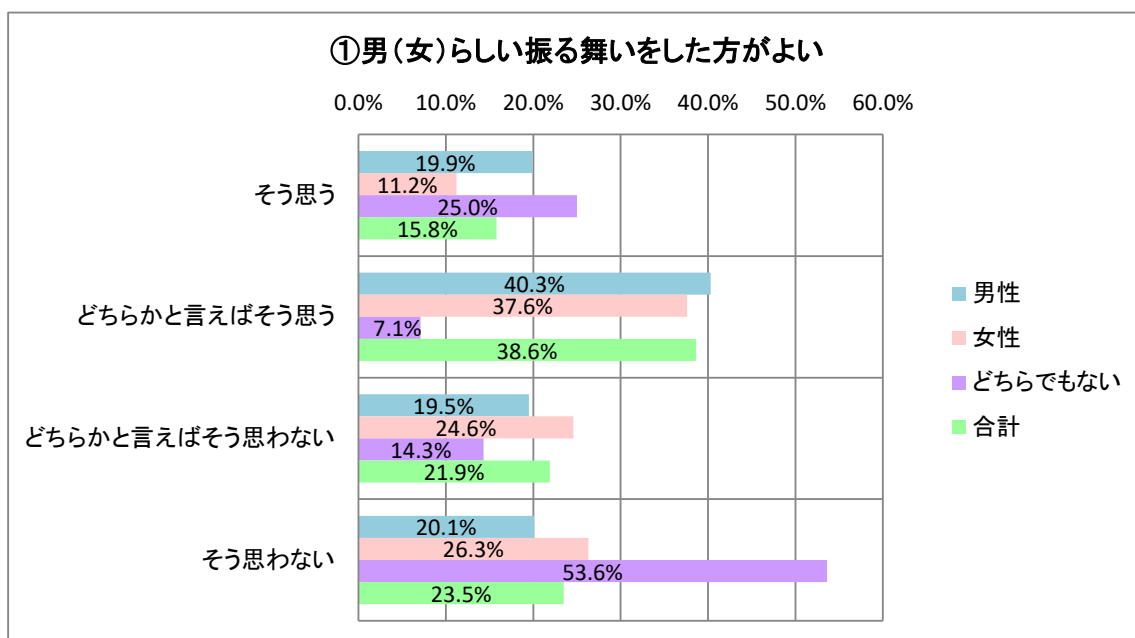
④社会全体を男女平等と感じるか



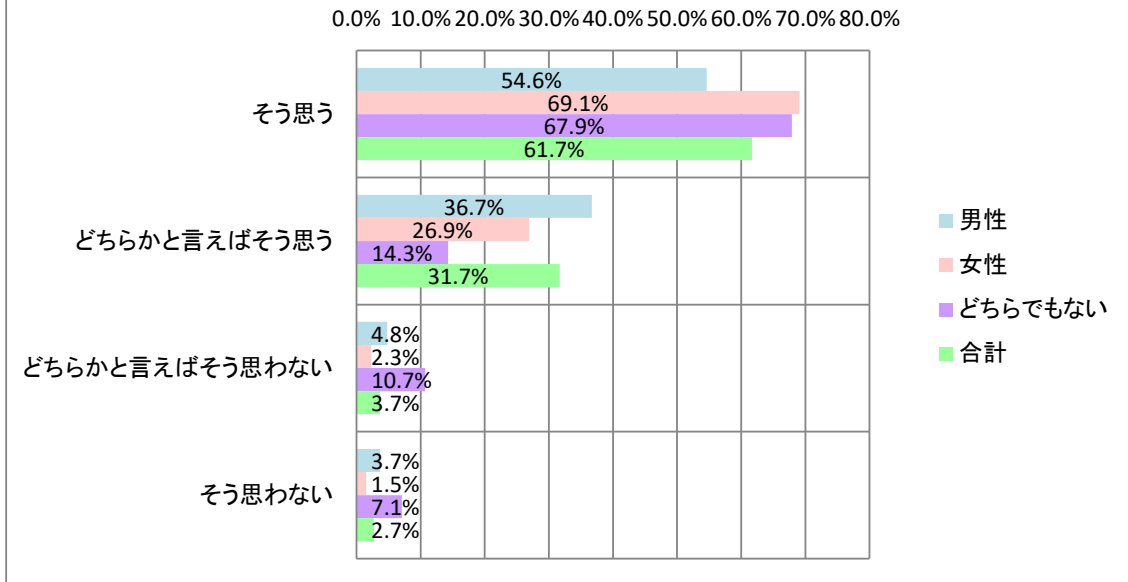
- 「①学校生活」と「②家庭生活」は、日々の生活の中で男女の平等・不平等感を感じることができるが、③法律や制度 ④社会全体 になると「わからない」という回答が増える傾向にある。
- 「③法律や制度」と「④社会全体」に関しては、男性は「女性の方が優遇されている」と感じ、女性は「男性の方が優遇されている」と感じる割合が高くなった。

3. 固定的性別役割分担についてお伺いします。

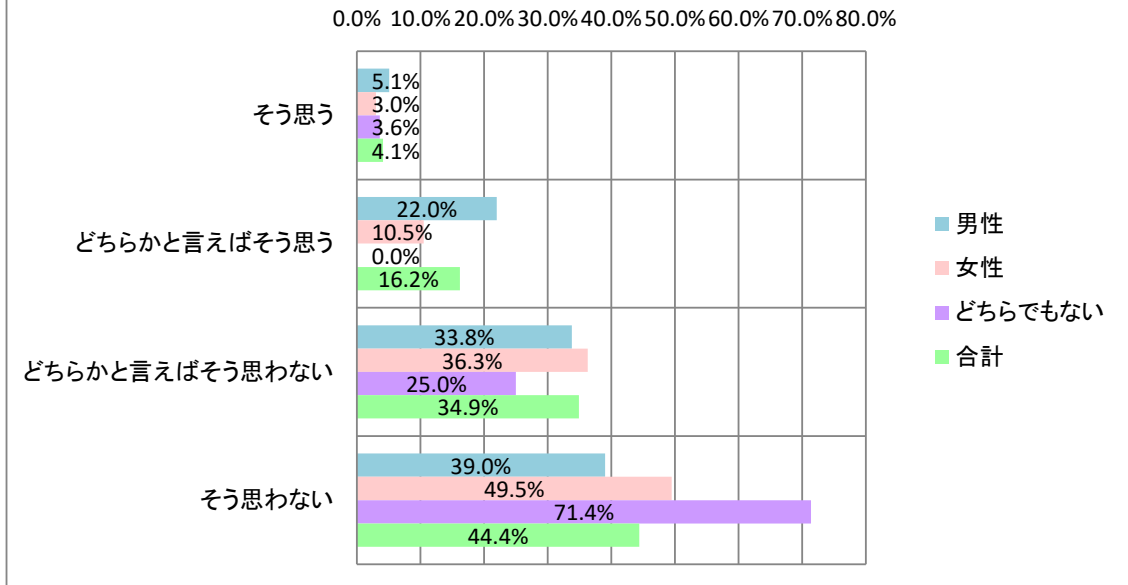
		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう 思わない	合計
①女らしい振る舞い、男らしい振る舞い をした方がよい	男性	220	446	216	222	1,104
		19.9%	40.3%	19.5%	20.1%	99.8%
	女性	116	389	254	272	1,031
		11.2%	37.6%	24.6%	26.3%	99.7%
	どちらでもない	7	2	4	15	28
合計	343	837	474	509	2,163	
		15.8%	38.6%	21.9%	23.5%	99.8%
②女性も男性も役割分担をして、 家事・育児に積極的に関わるべきだ	男性	604	406	53	41	1,104
		54.6%	36.7%	4.8%	3.7%	99.8%
	女性	714	278	24	16	1,032
		69.1%	26.9%	2.3%	1.5%	99.8%
	どちらでもない	19	4	3	2	28
合計	1,337	688	80	59	2,164	
		61.7%	31.7%	3.7%	2.7%	99.8%
③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	男性	56	243	374	431	1,104
		5.1%	22.0%	33.8%	39.0%	99.8%
	女性	31	109	375	512	1,027
		3.0%	10.5%	36.3%	49.5%	99.3%
	どちらでもない	1	0	7	20	28
合計	88	352	756	963	2,159	
		4.1%	16.2%	34.9%	44.4%	99.6%



②役割分担して家事・育児に積極的に関わるべき



③夫は外で働き、妻は家庭を守るべき

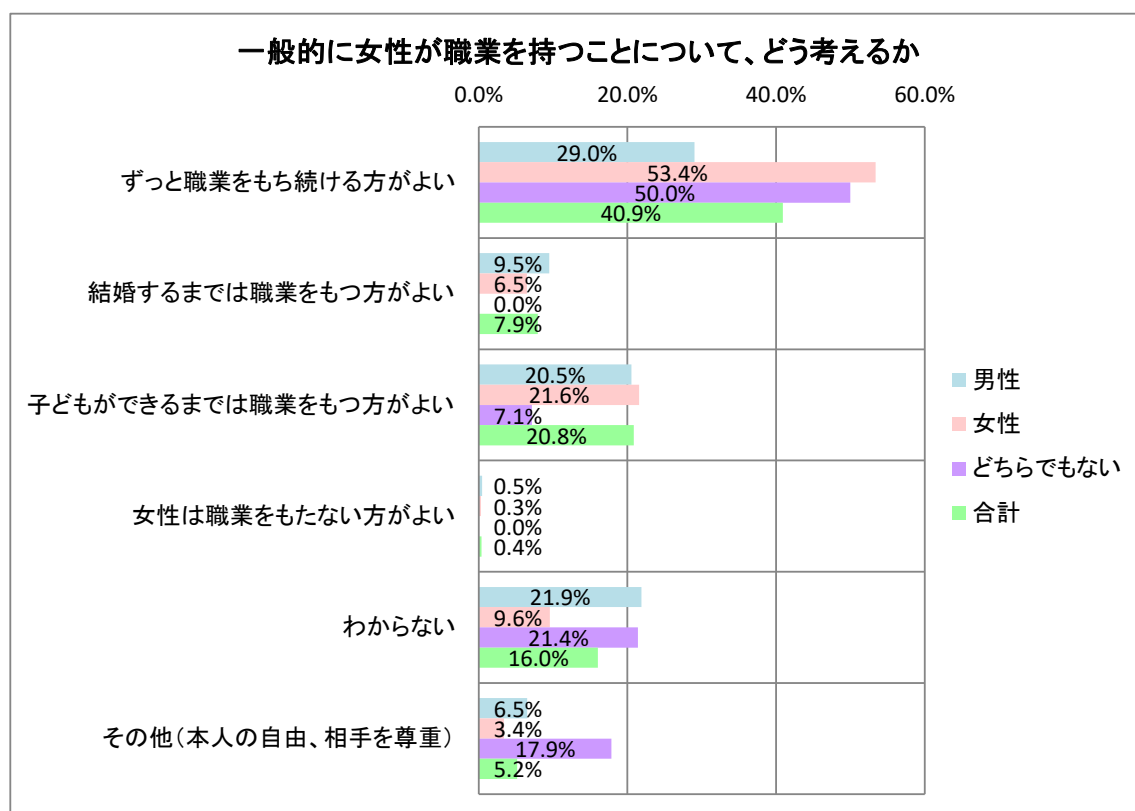


- 男女ともに、「男（女）らしいふるまいをした方がよいと思う」と回答した人が多い一方、自認する性を「どちらでもない」と答えた人では、「そう思わない」と答えた人が多かった。
- 「女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべき」と回答した人が多く、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という役割分担については「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」という回答が大多数で、特に自認する性を「どちらでもない」と答えた人の「そう思わない」の割合が高かった。

4. 女性活躍推進についてお伺いします。

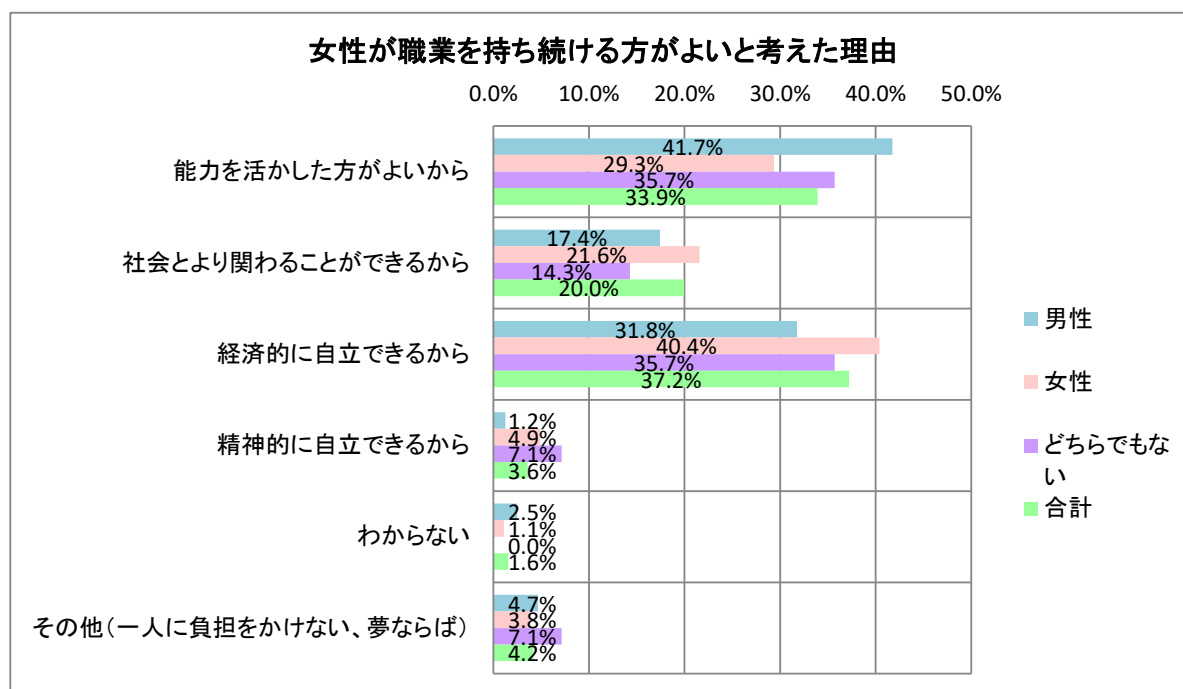
問5 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

	男性	女性	どちらでもない	合計
ずっと職業をもち続ける方がよい	321 29.0%	552 53.4%	14 50.0%	887 40.9%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	105 9.5%	67 6.5%	0 0.0%	172 7.9%
子どもができるまでは職業をもつ方がよい	227 20.5%	223 21.6%	2 7.1%	452 20.8%
女性は職業をもたない方がよい	5 0.5%	3 0.3%	0 0.0%	8 0.4%
わからない	242 21.9%	99 9.6%	6 21.4%	347 16.0%
その他 (本人の自由、相手を尊重)	72 6.5%	35 3.4%	5 17.9%	112 5.2%



問6 問5で1と回答された方のみお答えください。女性が職業をもち続ける方がよいと考えた理由を1つ選んでください。

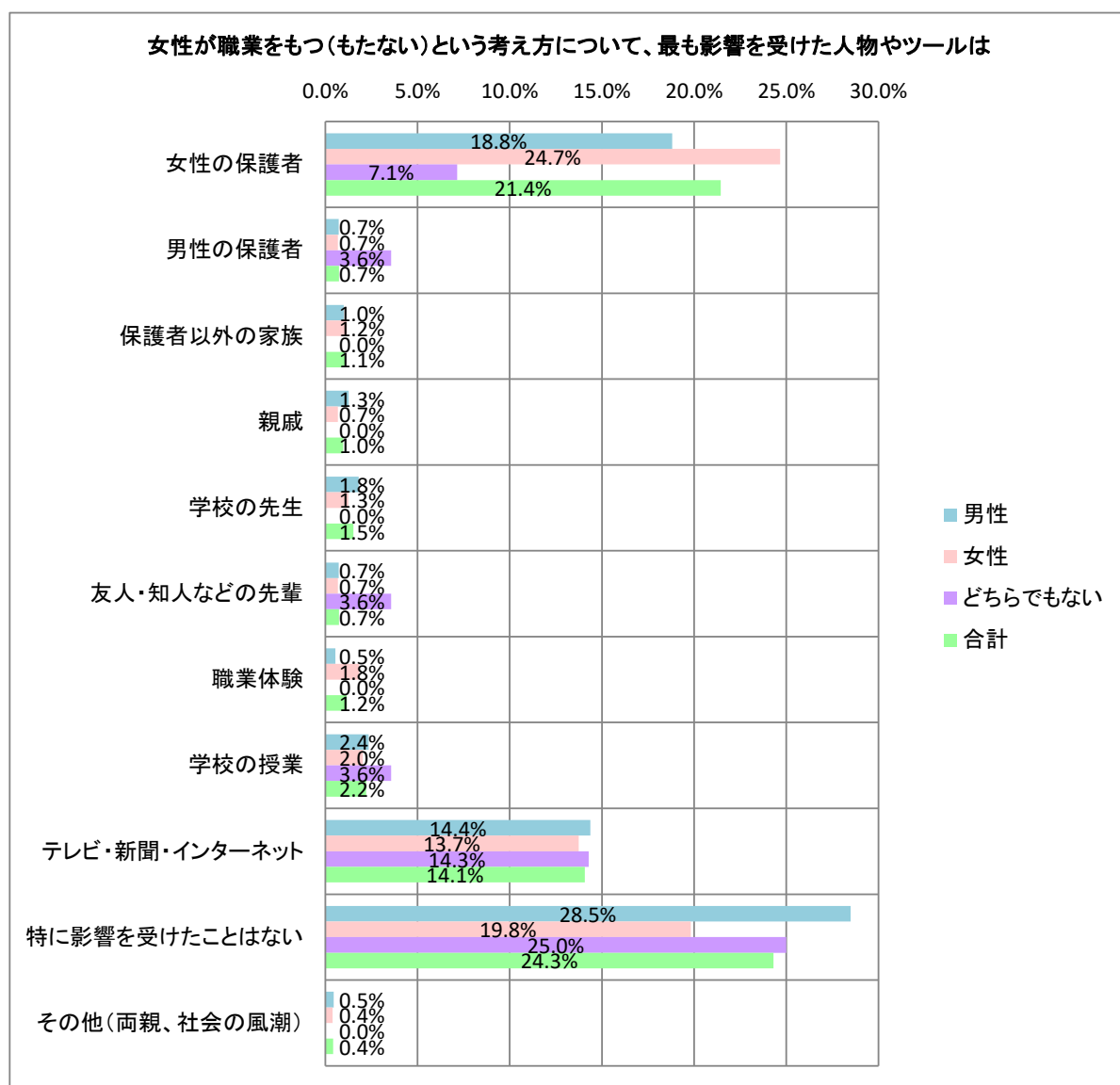
	男性	女性	どちらでもない	合計
能力を活かした方がよいから	134 41.7%	162 29.3%	5 35.7%	301 33.9%
社会とより関わることができるから	56 17.4%	119 21.6%	2 14.3%	177 20.0%
経済的に自立できるから	102 31.8%	223 40.4%	5 35.7%	330 37.2%
精神的に自立できるから	4 1.2%	27 4.9%	1 7.1%	32 3.6%
わからない	8 2.5%	6 1.1%	0 0.0%	14 1.6%
その他 (一人に負担をかけない、夢ならば)	15 4.7%	21 3.8%	1 7.1%	37 4.2%



- 女性が職業を持つことについて、「ずっと持ち続けた方がよい」と回答した人が多く、その理由は「経済的に自立できるから」「能力を活かした方がよいから」の割合が高い傾向にあった。

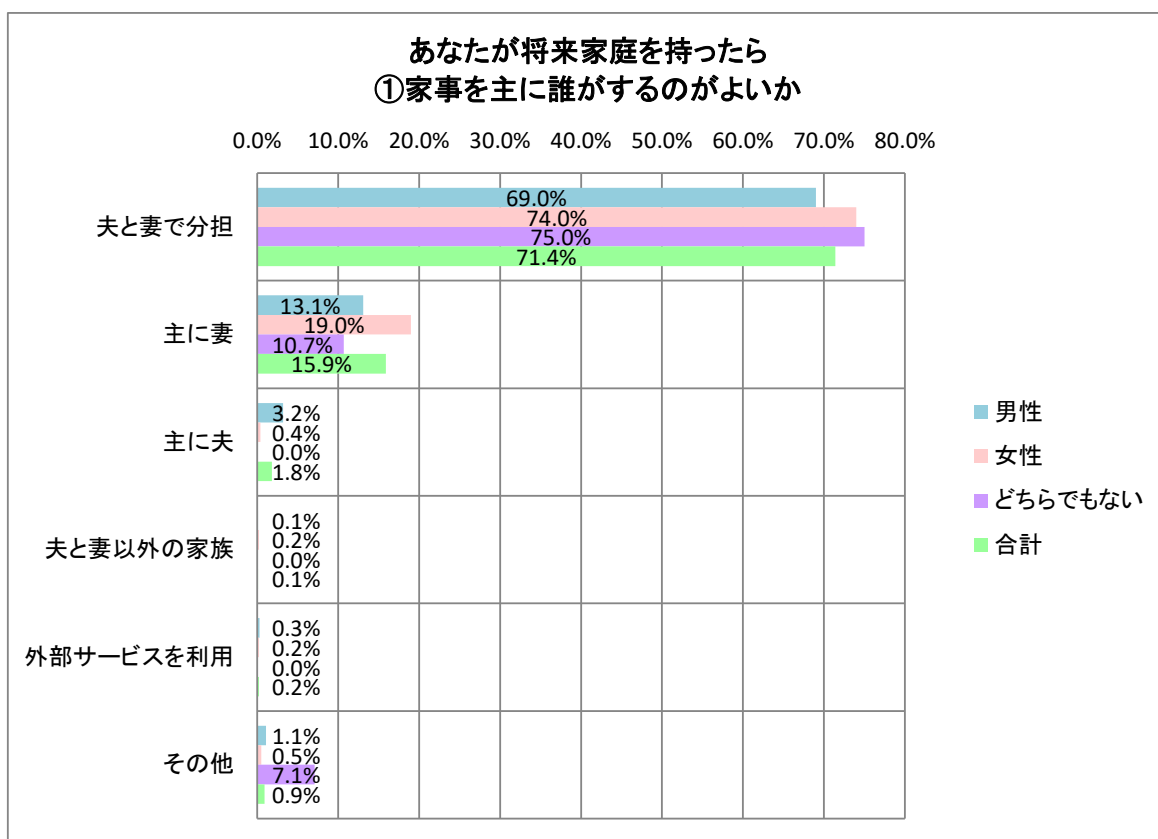
問7 女性が職業をもつ(もたない)という考え方について、最も影響を受けたと思う人物やツールを1つ選んでください。

	男性	女性	どちらでもない	合計
女性の保護者	208	255	2	465
	18.8%	24.7%	7.1%	21.4%
男性の保護者	8	7	1	16
	0.7%	0.7%	3.6%	0.7%
保護者以外の家族	11	12	0	23
	1.0%	1.2%	0.0%	1.1%
親戚	14	7	0	21
	1.3%	0.7%	0.0%	1.0%
学校の先生	20	13	0	33
	1.8%	1.3%	0.0%	1.5%
友人・先輩などの知人	8	7	1	16
	0.7%	0.7%	3.6%	0.7%
職業体験	6	19	0	25
	0.5%	1.8%	0.0%	1.2%
学校の授業	26	21	1	48
	2.4%	2.0%	3.6%	2.2%
テレビ・新聞・インターネットなど	159	142	4	305
	14.4%	13.7%	14.3%	14.1%
特に影響を受けたことはない	315	205	7	527
	28.5%	19.8%	25.0%	24.3%
その他(両親、社会の風潮)	5	4	0	9
	0.5%	0.4%	0.0%	0.4%

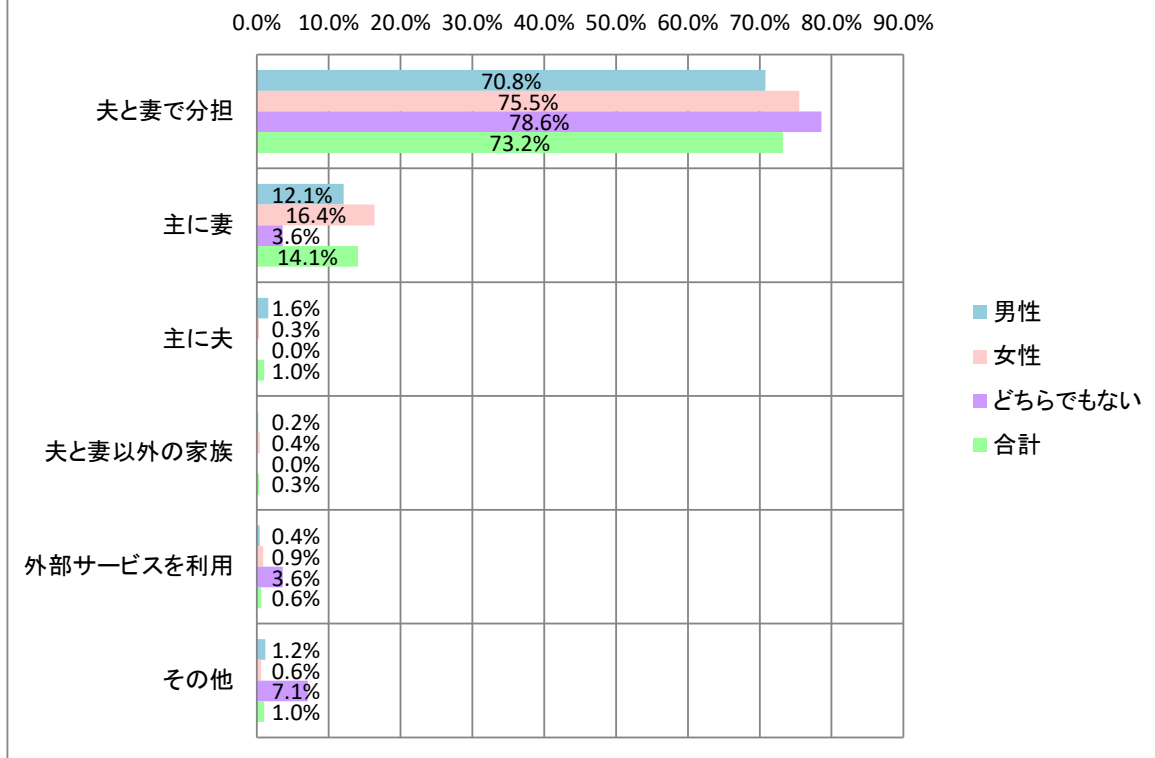


問8 あなたが将来家庭を持ったとしたら、①家事 ②育児 を主に誰がするのがよいと考えますか。
それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

		夫と妻 で分担	主に妻	主に夫	夫と妻 以外の 家族	外部 サービス を利用	その他	合計
①家事	男性	763	145	35	1	3	12	959
		69.0%	13.1%	3.2%	0.1%	0.3%	1.1%	86.7%
	女性	765	196	4	2	2	5	974
		74.0%	19.0%	0.4%	0.2%	0.2%	0.5%	94.2%
	どちらでもない	21	3	0	0	0	2	26
	75.0%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	
	合計	1,549	344	39	3	5	19	1,959
		71.4%	15.9%	1.8%	0.1%	0.2%	0.9%	90.4%
②育児	男性	783	134	18	2	4	13	954
		70.8%	12.1%	1.6%	0.2%	0.4%	1.2%	86.3%
	女性	781	170	3	4	9	6	973
		75.5%	16.4%	0.3%	0.4%	0.9%	0.6%	94.1%
	どちらでもない	22	1	0	0	1	2	26
	78.6%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	7.1%	92.9%	
	合計	1,586	305	21	6	14	21	1,953
		73.2%	14.1%	1.0%	0.3%	0.6%	1.0%	90.1%



あなたが将来家庭をもったら
②育児を主に誰がするのがよいか



- ・ 将来家庭を持ったら、①家事 ②育児 とも、「夫と妻で分担するのがよい」と回答した人が多数となった。

5. 男女共同参画推進についてお伺いします。(自由意見)

【男女平等参画】

- ・男女平等は難しい。
- ・男女平等は大切(第一)。
- ・男女が平等であるように様々なことに取り組んでほしい。
- ・法では男女平等ということになっているが、社会はまだ平等でないと思う。
- ・男女共同参画の意味がわからない。
- ・男女共同参画という言葉がある意味がよく分からない。男女関係ないと思う。
- ・昔からの文化や習慣が残っている人も多いため、意識を変えるよう努力する必要がある。
- ・男女共同参画の考えが広まっていくとよい。
- ・男女平等はどこの基準なのでしょう。
- ・もっと学校などで教えるべき。
- ・このようなアンケートが実施されること自体が男女差別等の意識が改善されていない証拠だと思う。
- ・男性が育児を取ると収入がなくなるので男が働いた方がよいと思う。
- ・男の人が家事をすることがまだ少ないと思う。
- ・育児をしながら仕事してよいという社会の風潮を作っていくことが大切。
- ・男女とも協力して頑張っていければよいと思う。
- ・本当に推進しているのかかわからない。昔ではないので差別的な言動、待遇を改めるべき。
- ・今のままでいいと思う。
- ・学校では男より女の方に甘くて何も注意されないのが平等にした方がよい。
- ・差別しすぎだと思う。
- ・行き過ぎないように。
- ・男性より女性の方が優遇されている。
- ・女性の優遇にやや過敏な気がする。女性の社会進出と男女平等を目指すなら、どこまでが差別的なのか、どこまでが平等になるのか、基準を作るといいのかなど少し思った。
- ・必ずどちらかには偏りがある。場合によってはその方がいい時と悪い時があるので何とも言えない。

【LGBT・ジェンダー】

- ・LGBTQについて理解を深めるべき。トランスの人が生きづらい。
- ・LGBTQ+が存在する中、「男女共同参画」という名前を変えてみては。
- ・男女、LGBTに対する差別がなくなってほしい。
- ・ジェンダーについて差別的な考えをしている人が多いと聞き残念。
- ・全人間を「個人」として扱い、「個々」の能力、個性をもって社会を回すべきと考える。
- ・男女だけでなく人種差別もなくなればよいと思う。
- ・男女ではなく「人間」としてみてもらえるような社会になることを願っています。
- ・男女差は中高で学んだ。性別の隔たりなくよい社会になればよいと思う。
- ・性別によって制限されるのはかわいそうだが限度もある。
- ・性問題でも男性が不利だと思う。

【役割分担・女性活躍推進】

- ・もっと女性も社会へ進出できるようになってほしい。
- ・女性が職業をもつべきかなど論じているうちは男女共同参画は達成されないのではないかと。
- ・女性が積極的に行動し、男性ができなかったことができるので推進していけばよいと思う。
- ・女性が参加しづらい雰囲気がある。
- ・女性を差別することなく、いろんな家庭がいろんな選択ができるようサポートすることが重要。
- ・将来仕事に就いた時に女性も仕事ができるのに男性の方が優遇されていたらよくないと思う。
- ・“女だからこうしなくてはいけない”といったようなことで、自分の性別に負い目を感じるような社会になってほしくない。
- ・「差別」と「区別」「役割分担」の違いを理解せず主張している人がいることに不満を感じる。
- ・男性と女性の家庭での役割は当事者で話し合っただけだからアンケートに載せるのはおかしい。
- ・男女のしぼりなく、社会での地位や家庭内の役割が分別され、バランスがとれていけばよいと思う。
- ・女はこうじゃないといけない、男はこうじゃないといけないというのがとても気に食わない。

調査結果まとめ

1 現状

- ・ 性自認が男性、女性のどちらでもないと回答している生徒が1.3%存在する。
- ・ 小学生の時から女性の保護者が働いている環境にあり、家事・育児は主に女性の保護者がおこなっていた傾向が高い。
- ・ 65.5%の生徒がこれまでに「男女共同参画」について学んだことがあり、そのうち79.1%が「理解できた」「ある程度理解できた」と回答している。

2 用語の認知度

- ・ 男女共同参画に関する用語の認知度は、高い順に「DV（ドメスティック・バイオレンス）」、「男女共同参画または男女共同参画社会」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「LGBT（エルジービーティー。性的少数者）」となった。男女間に大きな差はない。

3 男女共同参画に対する考え

- ・ 学校生活や家庭生活では「男女平等」との回答が圧倒的に多いが、男女間に差が見られる。
- ・ 法律や制度では「男女平等」の割合が減り、「わからない」、「どちらかと言えば男性（女性）の方が優遇されている」が増え、男女間に大きな差はない。
- ・ 社会全体では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」が「男女平等」とほぼ同じ割合だが、「どちらかと言えば男性が優遇」と回答した女子の割合が法律制度より約15%増えている。

4 固定的性別役割分担

- ・ 男女とも「男（女）らしいふるまいをしたほうがよい」との回答が多い一方、自認する性を「どちらでもない」と回答した人は、「そう思わない」と回答した人が多かった。
- ・ 家事・育児は、男女ともに「役割分担して積極的に関わるべき」との回答が大多数で、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という役割分担については「（どちらかと言えば）そう思わない」が大多数だった。

5 女性活躍推進について

- ・ 女性が職業を持つことについて、男女とも賛成意見が多く、その理由は「経済的に自立できる」「能力を活かした方がよい」が多かった。
- ・ 女性が職業と持つ（持たない）という考え方に最も影響を受けた人物（ツール）は、男女とも「特になし」と「女性の保護者」が高い回答を得たが、男子より女子の方が、「女性の保護者」の影響を受けている傾向が伺える。
- ・ 男女とも、将来家庭を持ったら、家事・育児とも夫婦で分担するのがよいとの回答が、大多数となった。

6 その他

自由意見では、男女の区別なく「人間」「個人」としてみることができるとの社会を望む声が多かった。